

平成 26 年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	児童館における学習支援・体験教室事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人ワーカーズコープ 松本事業所 (松本市城東 2-6-17 ハイツリラ 101 号)
事業区分	(5) 子育て支援 (1) 県と市町村との協働事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,195,919 円 (うち支援金 : 896,000 円)

事業内容

1. 学習支援

外部講師を依頼して、各地域、児童館、参加児童の事情に沿った学習支援を行った。参加者のなかには減免世帯も少なくなく、学校に行きにくい児童、生きづらさを感じている中学生などの姿もある。地域の方に講師をして頂くことで、職員と宿題をする時とは違う緊張感と真剣さで勉強に取り組める空間となっている。



【学習支援】

2. 体験教室

児童館、児童センターに登録していることで習い事に行きたくても行かれない状況がある。加えて子どもたちの体験不足を補えるよう、利用者の声を拾って体験教室を立ち上げた。講師も地域の方を中心に様々な達人にお願いすることで地域交流が生まれ、その中で子どもたちの意欲が高まり、生きる力をつけている。



【体験教室】木育

事業効果

①参加者の中には減免家庭の子、学校に行きづらい子、学習の遅れを指摘されている子、生きづらさを感じている子が少なからずおり、支援の必要なところに手が届き始めている。学習支援をきっかけに、学校のクラブ活動に参加できるようになったり、受験に自信をもって臨めるようになったという報告がある。

②講師には、地域の人材活用ができるよう様々なネットワーク、関係機関に結んだ。その結果、講師自身が地域で活躍する場ができ生きがい創出と共に就労支援の場ともなった。

③普段接している職員とは違う様々な講師（地域の達人）に学ぶことで、子どもたちの学びの意欲が明らかに向上した。そこから、毎日の児童館での主体的な生活に繋がっている。

【目標・ねらい】

- ①生活困窮者家庭や生きづらさを抱えている子どもたちの体験格差、学力格差を解消する
- ②講師として地域の人材活用をすることで地域交流と地域活性化を図る
- ③地域ぐるみで子育てをするなかで子どもの生きる力を育む

※自己評価【 B 】

【理由】 予定した事業に取り組み、目標・ねらいを達成する基礎を固めることができた。

今後の取り組み

それぞれの館で取り組んだ結果から見えてきた課題をもとに、2年目に発展させていく。

- 支援が本当に必要なところに届くよう、広報活動を工夫するとともに継続して活動することで認知度を上げていく。
- 子育て講演会などで利用者、地域への発信を続け、地域ぐるみで子育てのできる環境をつくっていく。
- つどいの広場事業（未就園児の居場所事業）とも連携し、0歳からの子育ての連続性を生かして子育て支援をする。
- 保護者会などを巻き込んで、より利用者主体の事業を目指す。